

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | (仮称)京都市中央市場 七本松駐車場 | 階数 | 地上4F |
| 建設地 | 京都市下京区西七条北東野町90番地 他4筆 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 準工業地域, 準防火地域 | 平均居住人員 | 0 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 2,400 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 工場, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2019年8月 予定 | 評価の実施日 | 2019年1月15日 |
| 敷地面積 | 5,654.21 m ² | 作成者 | 藪田裕史 |
| 建築面積 | 2,684.20 m ² | 確認日 | 2019年1月15日 |
| 延床面積 | 10,727.25 m ² | 確認者 | 田部幸一 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

個別計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 77%
③上記+②以外の: 31%
④上記+: 17%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 1.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--------------|--|--|
| 総合 | 外観の色彩については、落ち着いた色を使用し、周囲の街並みに調和するよう配慮し、地域性及びアメニティの向上に努めました。 | その他 (特記事項なし) |
| Q1 室内環境 | 有害物質の少ない建材を使用し、室内空気汚染の低減に配慮しました | Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を効果的に設け、敷地内外の環境に配慮しました。 |
| LR1 エネルギー | 太陽光発電設備を設け、再生可能エネルギーの利用に配慮しました。 換気、照明等の設備機器については、エネルギー効率を高めるよう配慮しました。 | LR3 敷地外環境 適正な駐輪場、駐車スペースを設け、交通負荷の抑制に努めました。 |
| Q2 サービス性能 | バリアフリー等の機能性を考慮し、建物全体としての耐久性及び更新性を高めるよう配慮しました。 | |
| LR2 資源・マテリアル | リサイクル可能な建材を使用し資源保護に努めました。 節水等を考慮し、水資源保護に努めました。 | |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される